

デジタルパックテストマルチSP アプリケーションデータ

検水中のオゾンの測定

概要 デジタルパックテスト・マルチSPを用いたオゾン測定例をご紹介します。
発色試薬にパックテストオゾン(WAK-O₃) (弊社製)を使用します。
本装置の【ユーザー項目】で測定条件を設定・登録し、【濃度測定】で測定を実施します。

分析対象 オゾン
使用試薬 パックテストオゾン(WAK-O₃)
発色 無色→淡紫→紫
測定原理 酵素を用いた4-アミノアンチピリン法
測定セル 専用カップ
測定範囲 0.25 ~ 2.00 mg/L(ppm)

測定条件(パラメータ) (推奨)

項目名	任意
K(検量線の傾き)	3.91
b(検量線の切片)	0
測定時間	02:00
測定波長	539nm
単位	mg/L

測定方法

1. [メイン画面]の【濃度測定】を押し、[測定項目一覧画面]から【登録した測定項目】を押しします。
2. 【決定】を押し、[測定画面]に切り替えます。
3. 検水を専用カップに1.5mL(線まで)採ります。
4. 専用カップをセルボックスに入れ、【0調】を押しします。
5. パックテストのチューブに、専用カップの検水を全量吸い込み、同時に【測定】を押しします。
6. 5.のチューブを軽く5~6回振り混ぜて、すぐに専用カップにチューブ内の測定液を静かに戻し、セルボックスに再びセットし静置します。
7. 2分後に濃度が表示されます。(測定範囲を超えてもUNDER、OVERは表示されません。)

注意

1. 電解方式のオゾン発生器で発生させたオゾン水を上水試験方法 32.3 ヨウ素滴定法で標定し、検量線を作成しました。
2. オゾンが水に溶解する量は微量で、非常に不安定です。採水から測定に至る一連の操作は手早く行ってください。
3. オゾンは還元性物質によって消費されます。また、残留塩素や過酸化水素等の酸化性物質が共存する場合、正の誤差を生じます。
4. 海水は測定値に影響を与えません。
5. 発色時のpHは約7です。
6. 試薬に関するお知らせはパックテストオゾン(WAK-O₃)に付属の使用法をご確認ください。



株式会社 共立理化学研究所
KYORITSU CHEMICAL-CHECK Lab., Corp.

〒145-0071 東京都大田区田園調布5-37-11
TEL:03-3721-9207 FAX:03-3721-0666
<http://kyoritsu-lab.co.jp> kyoritsu@kyoritsu-lab.co.jp